

令和3年及び令和4年（1月～4月）の労働災害発生状況

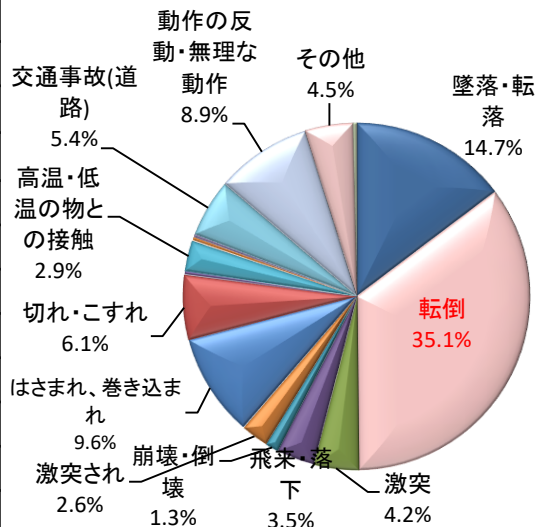
令和3年の休業4日以上労働災害は**313件**で、前年度と比べ**30件も増加**し、**死亡災害についてはこの2年は発生していませんでしたが、残念ながら1件（令和3年12月27日）発生**してしまいました。

事故の型別にみると、転倒災害が35.1%、墜落・転落災害が14.7%、はさまれ・巻き込まれ災害が9.6%と高い割合となっています。特に転倒災害は、全体の3分の1以上を占め、前年に引き続き高い割合です。転倒災害のなかでも、高齢者や女性の転倒、駐車場から事業場への移動時の転倒が目立ちます。転倒の危険は誰もが経験するものであり、その防止対策は事業場の業種、規模に関わらず取り組むことが求められます。管内の事業者様においては作業能率の向上等、経営上の利益につながり得るものですので、一層の転倒災害防止（**4S活動、転倒危険個所の見える化等**）をお願い申し上げます。転倒災害防止の推進にあたっては、職場のあんぜんサイト「**STOP！転倒災害防止プロジェクト**」を参考にしてください。

令和3年の労働災害発生状況(全期:1月～12月)

業種	発生年	令和3年12月末			
		死傷(死亡)	死傷(死亡)	前年同期比	増減率
全産業		283(0)	313(1)	+30	10.6%
製造業		70	78	+8	11.4%
鉱業		1	1(1)	±0	—
建設業		50	35	-15	-30.0%
土木工事業		14	13	-1	-7.1%
建築工事業		27	11	-16	-59.3%
その他建設業		9	11	+2	22.2%
陸上貨物運送事業		35	48	+13	37.1%
林業		4	6	+2	50.0%
商業		33	42	+9	27.2%
接客娯楽業		14	21	+7	50.0%

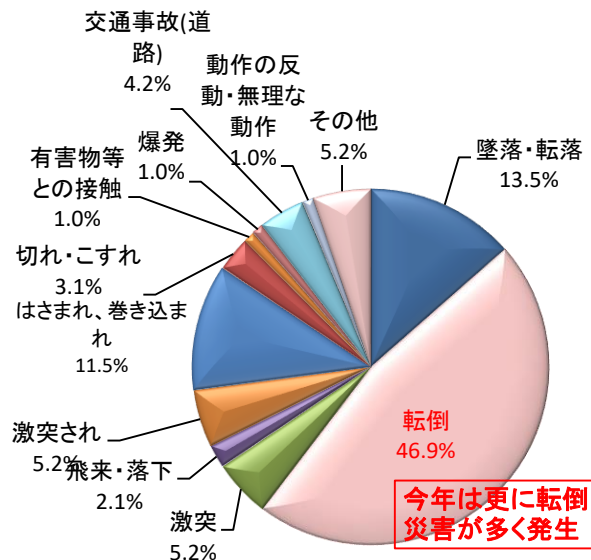
【災害の傾向（事故の型別）】



令和4年の労働災害発生状況(1月～4月)

業種	発生年	令和4年4月末（速報値）			
		令和3年同期	死傷(死亡)	死傷(死亡)	前年同期比
全産業		91(0)	96(0)	+5	5.5%
製造業		19	21	+2	10.5%
鉱業		0	2	+2	—
建設業		7	16	+9	128.6%
土木工事業		2	7	+5	250.0%
建築工事業		3	5	+2	66.7%
その他建設業		2	4	+2	100.0%
陸上貨物運送事業		17	15	-2	-11.8%
林業		3	1	-2	-66.7%
商業		14	12	-2	-14.3%
接客娯楽業		8	5	-3	-37.5%

【災害の傾向（事故の型別）】



今年には更に転倒災害が多く発生

※その他の内、コロナ5件 この分を増やさないことが重要です。

守ってますか？最低賃金！宮城県の最低賃金は、令和3年10月1日から**時間額 853円**です。

※産別賃金は、別途ご確認ください。

令和4年5月30日発行